

感染制御チーム

■感染制御チーム（ICT：Infection Control Team）

院内感染防止委員会の中の実働チームであり、感染制御医師感染制御医師（ICD）、感染制御薬剤師（BCPIC）、看護師、臨床検査技師、事務系職員 各 1 名で構成されています。

■チーム活動の内容

- 1) 感染症状況の把握
 - ① 当院においては電子カルテ上において、高熱患者は自動的にリストアップされます。個々の疾患による発熱か、院内感染による発熱の疑いがあるかどうか、検討を行います。
 - ② 特殊な細菌やウイルス、耐性菌が検出された場合は、検査室より直ちに主治医・病棟師長・ICDへ連絡が入ります。個々の病原体に応じた隔離対策を行います。
 - ③ 週 1 回 ICT による巡回を行い、特別な薬を使用している感染症患者の治療状況を確認致します。
- 2) 院内集団感染予防
 - ① 特殊な細菌やウイルス、耐性菌が検出された場合は、個々の病原体に応じた隔離対策を行います。
 - ② 耐性菌による集団感染は尿路系を經由して感染が広がってゆくことが多いです。そのため蓄尿や膀胱バルーンカテーテル挿入患者などの尿管理には特別な監視体制を作り最大限の注意を払っております。
- 3) 職員に対する教育

年 2 回院内感染防止勉強会を開催致します。

他に機械を使って手洗い状況をチェックしたり、病院内巡回を行った際に問題があれば指摘し改善を行っております。
- 4) 地域連携感染防止

1 年に 4 回、住之江区内の他病院と合同でカンファレンスを行います。

感染防止に関する意見交換、地域における耐性菌発生状況の把握などを行います。

また他病院の感染対策の見学も行います。

■チーム活動の様子

